

令和7年度幼稚園経営計画

園名 大崎上島町立大崎上島幼稚園

園長 川本 美陽

I 【教育目標】

心豊かに、のびのびとたくましく生きぬく子供

II 【経営理念】（ミッション・ビジョン）

【ミッション】（自園の使命）

大崎上島の将来を担う たくましく生きぬく子供

～ ふるさと大崎上島を愛する子供を育てる ～

【ビジョン】（自園将来像）

～ 学び合い自ら力を伸ばす幼稚園づくり ～

- ・大崎上島の豊かな自然や伝統文化を生かした教育実践を行う。
- ・地域の幼児教育を推進する役割を担うと共に、さまざまな個性や特性をもった幼児が、主体的に遊び、学び合える幼稚園づくりをめざす。
- ・全教職員で園児一人一人の発達を大切にしながら、義務教育及びその後の教育の基礎を培う教育実践を行う。

【めざす幼稚園像】

園児にとって

- 明日が楽しみになる幼稚園
- 一人一人が力を発揮できる幼稚園
- 夢や希望がもてる幼稚園
- 大崎上島が大好きな幼稚園

保護者にとって

- 通わせてよかったと思える幼稚園
- 安全で安心できる幼稚園

地域の方にとって

- 園児が元気いっぱい明るい幼稚園
- 地域の教育力が生かされる幼稚園

教職員にとって

- 使命感とやりがいもてる幼稚園
- 創意・工夫を生かせる幼稚園
- 自ら学び、互いに認め合い、協働する楽しさを感じられる幼稚園

【めざす子供像】

○豊かに感じ表現する子

感じたことや考えたことを、伝えようとする子

○自分で考える子

善悪の判断する力を身に付け、自分で考えて行動できる子

○心も体もたくましい子

基本的生活習慣を身に付け、自立をめざして生活を送ろうとする子
進んで運動遊びを行い、最後まであきらめないでやろうとする子

【めざす教師像】

- 専門職としての自覚をもち、謙虚に学び続ける教師
- 園児・保護者と良い関係を築き、仲間と助け合う教師
- 振り返りを生かした幼児教育の実践を行う教師

Ⅲ 1 現状の分析

	前年度の成果と課題 ◎成果 △課題 *改善の方策☆今後の取り組み
幼児の健全な成長	○主体性を育み、知識の基礎を培う：「伝え合うことが楽しい」と言える子供を育てる「お話が大好きな子供」を育てる ◎生活や遊びの中で、園児1人1人との会話を大切に取り組んだことが成果につながった。 ◎絵本コーナーの工夫や読み語る本の精選（季節・子供たちの興味・個に合わせる）を行ったことで、興味・関心が高まり進んで絵本と関わるようになった。 ◎年中・年長児は、朝の身支度後、絵本読む時間の設定は、ブックトークへとつながり、聞く力や話す力を育むことができた。 ☆家庭、園での絵本の読み語りは継続して行う。 ☆豊かな体験を継続して行い、思考力につながる教師のかかわり（言葉かけ）に重点を置き取り組む。 ○最後まで取り組もうとする子供の育成：片づけを最後まで丁寧にやりきる ◎片付けの定着に向けて個別の指導に取り組んだ結果、9割の子供が定着できた。全職員で情報交換を行いながら取り組んだことや一人一人の苦手なところや得意なところを見取りながら、丁寧に取り組んだことが成果につながった。 △片付けが苦手な子供は固定化している。家庭と連携をとり継続した取り組みを行う。 ☆次年度は、運動遊びに挑戦することを通して、最後まで取り組もうとする姿を育む。 ○思考力判断力の基礎を培う：「危険を予見する力」を身につける ◎園と家庭で園児の課題を共有しながら取り組めたことが成果である。 *幼児の特性を把握し、園と家庭で連携を取り合い取り組む。 ○基本的な生活習慣を確立する ①早寝・早起き・あいさつ・朝ごはんの定着 ◎早寝・早起きがCからB評価となった。睡眠時間の必要性についての啓発や個別に取り組んだことが成果につながった。登園・降園時や来客の方に進んで挨拶をするようになり、あいさつは達成できた。 ☆生活カレンダーの取り組みは、基本的な生活習慣確立に向けて大きな成果につながった。今後も継続する。 ②「なんでも食べる元気な子」を育てる 食育活動及び家庭と連携をしながらの食事指導を行った結果、A評価となった。保護者のアンケートの結果からも「育てる 作る 食べる」取り組みが食育推進になっていると100%の回答が得られた。親子クッキングや給食指導なども80%の肯定評価となっている。 △食事のマナー（箸の持ち方・姿勢等）の定着が難しい。 ☆発達段階に応じた目当てを設定し、生活カレンダーを利用しながら取り組む。 ○健やかな体の育成：「体を動かして遊ぶことが大好き」な子供を育てる ◎運動遊びの実施は達成できており、「体を動かすことが大好き」な子供育てにつながった。 ☆一日一回の運動あそび、集団遊びは継続して行う。
信頼される幼稚園	○大崎上島を愛する子供を育てる：「大崎上島学」を推進する ◎「大崎上島学」を推進するために、民話の語り聞かせや自然・農業体験を計画・実施した。お世話になった方への感謝の気持ちや大崎上島を大切に思う気持ちが育ってきた。 △学級での体験活動に差がある。 *担当者に任せるのではなく、職員間で情報交換しながら計画を立てる。 ○連携教育を充実させる：幼小連携教育を推進する ◎年間を通して授業の参観や小学生との交流を行うことができた。 ◎支援を必要とする園児について日常的に連携をとることができ、園や家庭・地域での様子を情報共有し、滑らかな幼小の接続につながることができた。 ○開かれた園づくりに努める：積極的な情報発信を行う ◎園だより、学級だより、園長だよりなどで園の教育を発信した。保護者や地域の方からも園児の様子や教育内容がよく分かったと評価を得た。

2 本年度の重点目標

- 主体性を育み、知識の基礎を培うために園内外の環境整備と体験活動充実を図り、「考えることが楽しい」と思える子供を育てる。
- 「あきらめずに挑戦する」を目標に運動遊びに取り組み、最後までやりきろうとする力を育む。
- 食事のマナーを身に付ける。
- 「大崎上島学」を推進する。

3 中期経営目標及び短期経営目標

項目	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目	指標
幼児の健全な成長	主体性を育み、知識の基礎を培う。	◎「考えることが楽しい」と思える子供を育てる。	・興味・関心・疑問が生まれる環境構成の設定と体験活動を行う。 ・思考力を育む教師の関り（言葉かけ）方を研修する。	教師による環境構成の設定 ・学期に1回体験活動の実施 ・年5回以上保育の振り返り（保育記録） ・育みシートによる子供の育ちの検証	100% 100% 100%
	最後まで取り組もうとする子供の育成	◎あきらめずに運動遊びに挑戦する。	・自分なりの目当てをもって、運動遊びに取り組ませる。	運動遊びに取り組む姿の教師の評価 ・やってみようとする姿【年少】 ・目当てに向かって取り組む姿【年中・年長】	80% 80%
	基本的な生活習慣を確立する。	○早寝・早起き・あいさつの定着 ◎食事のマナーを身に付ける。	・月ごとに目当てをもち、生活カレンダーを利用し家庭と協力し合って取り組む。 ・年齢ごとに目当てをもち取り組ませる。	生活カレンダーの達成度（早寝・早起き・あいさつ） 教師の評価と家庭の評価 ・進んで食事の挨拶をする。【全園児】 ・座って食事をする。【年少児】 ・箸を使う。【全園児】 ・正しい姿勢で食事をする。【年中・年長】 ・正しい箸・スプーンの持ち方を指導する。	80% 100% 80% 80% 100%
	健やかな体の育成	○「なんでも食べる元気な子」を育てる	・育てて食べる体験活動を充実させる。	給食時間における子供の姿の教師の評価 ・苦手な物も食べる子供 ・食べることを喜ぶ子供 食育に関する教師の取り組みと啓発 ・たよりの発行学期に1回以上 保護者アンケート調査による評価・改善 ・学期に1回	80% 90% 100% 100%
信頼される幼稚園	大崎上島を愛する子供を育てる	◎「大崎上島学」を推進する。	・大崎上島自然・農業体験の実施。	・実施回数学期に1回以上	100%
		○幼・小連携教育を推進する。	・保育内容や行事を工夫し、園児・児童と一緒に活動させる。 ・職員による授業の参観を行う。	・学期に1回以上実施 ・年間一人1回以上	100% 100%
	開かれた園づくりに努める	○積極的な情報発信を行う。	・情報の公開を積極的に行う。ホームページの更新、各種たよりの発行を行う。	・園だより月1回 ・学級だより年25回以上 ・保健・食育だより 月1回	100% 100% 100%

令和7年度 幼稚園経営計画構想図 大崎上島幼稚園

幼稚園教育要領
大崎上島町教育
推進プラン

幼稚園教育目標 心豊かに、のびのびとたくましく生きぬく子ども

幼児の実態
地域・保護者
の願い

めざす教師像

- ・専門職としての自覚を持ち、謙虚に学び続ける教師
- ・園児・保護者と良い関係を築き、仲間と助け合う教師
- ・振り返りを生かした幼児教育の実践を行う教師

めざす子供像

- ・豊かに感じ表現する子
- ・自分で考える子
- ・心も体もたくましい子

めざす幼稚園像

- ・夢や希望を持ち、一人一人が力を発揮できる幼稚園【園児】
- ・安全で安心ができ、「通わせてよかった」と思える幼稚園【保護者】
- ・自ら学び、互いに認め合い、協働する楽しさを感じられる幼稚園【教職員】

【研究主題】

「のびのびと主体的に遊ぶ子どもをめざして」

～ 個の育ちに合わせた教師の援助と環境構成のあり方について～

教育

経営の重点目標

生活

幼児の健やかな成長（知・徳・体）

① 主体性を育む。

- 興味・関心・疑問が生まれる環境構成の設定と体験活動を行い「考えることが楽しい」と思える子供を育む。

② 学習の基礎を育む。

- 良い話の聞き方（相手の顔を見る・体を止める）を知らせ、話を聞こうとする姿を育む。
- 目当てをもって運動遊びに取り組み、最後までやってみようとする子供を育てる。

③ 英語に親しむ。

- ALTによる英語で遊ぶの時間を通して、英語を楽しむ、親しみを持つ子供を育てる。

④ 思考力・判断力の基礎を培う。

- ICT教材や絵本などを使った指導を行い、危険を「予測する力」を育む。

⑤ 豊かな言葉と心を育む。

- 職員による毎日の絵本の読み語り、講師による民話の語り聞かせ活動を通して、豊かな言葉と心を育む。
- 地域・児童との交流を通して関わる力、話す力を育む。

⑥ 健やかな体の育成

- 「なんでも食べる元気な子」を育む。

⑦ 基本的な生活習慣の確立

- 早寝・早起き・あいさつに取り組む。
- 食事のマナーを身に付ける。

信頼される幼稚園

① 「大崎上島学」を推進する。

- 大崎上島の民話・自然や農業体験を保育活動に位置付け、大崎上島の魅力・楽しさを体感し郷土を愛する心を育てる。

② 幼・小連携教育の推進

- 保育内容や行事の工夫を行い、園児・児童と一緒に活動をさせ、小学校生活への憧れの気持ちや期待感を育む。

③ 特別支援教育の充実

- 月1回の特別支援研修保育を実施し、教職員の指導力向上を図る。

④ 情報の発信と収集

- 園だより（月1回）・学級だより（年25回）保健、食育だより等、ホームページの更新を行う。Sigfyを活用し情報の発信を行う。
- 全職員で全園児を育てることを念頭に、保護者・地域の方とのつながりをもつ。

⑤ 園評価の実施と改善

- 適切な園評価目標の設定と実践に努め、評価・改善を行う。

生きる力の基礎を育む